

図形オブジェクトのタイプ

ご存知でしたか?... TNT 製品は、多くのラスタイプや様々なリレーショナル DB の他、5 種類の図形オブジェクト（ベクタ、シェイプ、CAD、TIN、リージョン）を総合的にサポートしています。

多様な図形オブジェクトがあることで...

- ベクタはポリゴナルやプレーナ、ネットワークなどのトポロジーを持ち、空間的な関係を取得できます。
- シェイプオブジェクトは、シェイプファイルやオラクル空間レイヤ、タブファイルを直接使用することができます。
- CAD を使ってスケッチや幾何図形を作ることができ、DWG や DGN、DXF ファイルを使用することができます。
- TIN オブジェクトは 3 次元地表面を表現することができます。
- リージョンオブジェクトは不規則なエリアを定義して、選択や切り抜きなどに使用することができます。（ベクタオブジェクトの輪郭ポリゴンは、リージョンオブジェクトとして使うことができます。）



ベクタオブジェクト

どのベクタもリージョンとして選択することができ、内側のラインはディゾルブによって自動的に削除されます。

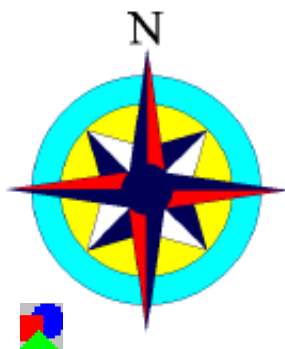


リージョンオブジェクト

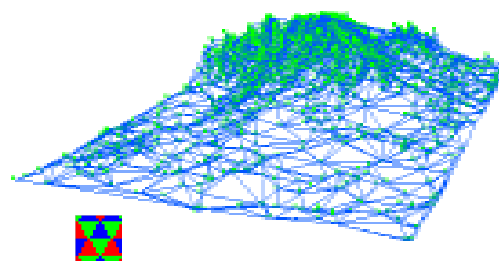
ポリゴンの境界が相容れない地表上のエリアである場合（例えば、テキサス州であって、かつオクラホマ州というエリアは存在しません）、ポリゴナル・トポロジーを持ったベクタオブジェクトが必要とされます。最終的にポリゴナルトポロジーを必要とするオブジェクトを、まずはスケッチレイヤ（CAD）として作ることもできます。これらの要素を既存のベクタオブジェクトに追加するには、空間データエディタの中でマージ処理やコピー/ペーストをします。



シェイプオブジェクト



CAD オブジェクト



TIN オブジェクト

多様な図形オブジェクトの使い方

- データや用途に適したオブジェクトタイプを選択します。
- エディタを使って、任意のタイプの図形オブジェクトをベクタや CAD オブジェクトにコピー/ペーストします。
- あるいは、図形オブジェクトをベクタや CAD オブジェクトにマージします。
- あるいは、変換処理を使って異なる図形タイプのオブジェクト間の変換をします。

さらに知りたいことがあれば...



以下のチュートリアルをご覧ください：
ベクタ解析操作（Vector Analysis Operations）

